

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	電気自動車借上事業			会計	款	項	目	大	小
				01	04	01	04	05	65
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市公用車	意図	地球温暖化の防止
事業内容	市公用車として率先的に電気自動車を導入することにより、その環境性能や利便性をPRし多くの市民・事業者を導入していただくことにより、地球温暖化防止に寄与するもの。 (長期継続契約 平成22年9月1日から平成27年8月31日まで)			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年3月に『ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画』を策定し、その中で市公用車については、「公用車の更新」の中で、“更新にあたっては、電気自動車、ハイブリッド自動車、天然ガス自動車とする”と規定した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	リース台数	1	1	1	台	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 日頃の現場作業（主に放射線量モニタリング調査）において電気自動車を使用している。また、毎年行われるクリーンセンター施設見学において児童に電気自動車の説明・試乗を行い、啓発を行っている。	
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度				
事務事業の総計(a=b+c)		1,611,060	1,593,274	1,164,256				
事業費(b)(円)		1,180,380	1,174,054	749,700	導入効果として、従来のガソリンタイプの軽自動車と燃料代金・CO2排出量を平成26年度実績で比較した実績は次のとおりである。【燃料代金：31,839円⇔130,367円で約76%の削減】【CO2排出量(kg-CO2)：1,117⇔1,991で約44%の削減】			
うち一般財源		1,180,380	1,174,054	749,700				
職員給与費(c)(円)		430,680	419,220	414,556				
人役・職員(人)		0.06	0.06	0.06				
人役・再任用(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	日常的に有効活用を図り、イベントで啓発活動を行うとともに効果について啓発する。	③取り組みの課題	現在の電気自動車のリース期間が満了となることから、今後のエコカーの位置づけを検討する必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	放射能対策における除染活動で日常的に利用するほか、クリーンセンター見学会やグリーンフェスティバルで電気自動車の展示などにより啓発を行った。	④今後の改善計画	現在の時点で考えられるエコカーについてどうしていくか、複数の会社からの提案等を検討して計画を作成する。